

疑問にこたえ、丸ごと党語る

兵庫で山下さん 市民団体と14項目で質疑

山下芳生副委員長・参院議員は4日、神戸市内で市民団体の代表らと2時間近くにわたって懇談。事前にまとめられた14項目の質問に一つ一つ答えました。参加したのは「未来の社会を考える仲間たち」、NPO法人の代表、原発事故からの避難者、みどりの党に参加する宗教者ら6人。質問は「共産党はどんな党？立憲民主党や社民党との違いは」「野党共闘に踏み切った理由と意義」「立憲的改憲論をどう見る？」「民主集中制と党の体質」「民主主義革命が達成された後の改革」など。



山下さんは「違い」について「ことさら言わない。本格的な野党共闘が必要」と述べたうえで、党が進める二つの改革（アメリカ言いなり、大企業中心をただす）、資本主義の限界を乗り越えた社会をめざすことを紹介しました。憲法については「様々な違いはあっても安倍改憲反対で一致することが重要」と述べ、山下さんは「今後も意見交換し、私たちももっと変わっていききたい」とまとめました。



清水さん大阪歯科医師後援会「党と出会うつどい」で

日曜の午後、歯科医師・技士ら22人が参加した党と出会うつどい(4日、大阪市中央区)。清水さんは、①暮らしと経済②外交・安全保障③安倍改憲のねらい④日本共産党についてのテーマで35分講演し質疑応答しました。

参加者からは、「北朝鮮との対話の糸口はあるのか」「日本のエネルギー政策を転換させるいい手はないか」「自民党の議員の中にも安倍をやめさせる共闘のできる人はいないのか」などの質問が出されました。「党名を変えたほうがいい」「共産党に入る意味、何かいいことはあるのか」という質問も出され清水さんが丁寧に答えました。

大門さん 北朝鮮で力説「軍事でなく対話による圧力を」

大門みきし参院議員は4日、大阪・枚方市南部後援会、太子町、大阪狭山市の新春のつどいで講演。「安倍一強」をどうみるか、「改憲と北朝鮮問題」の二つのテーマで話しました。

安倍首相が北朝鮮の「脅威」を最大限利用して9条改憲をはかろうとしていると指摘したうえで、「果たして北朝鮮は『脅威』なのか」と提起。世界の総合的な軍事力ランキングはアメリカが1位、以下ロシア、中国、インドと核保有国が続き、日本は非核保有国としてはトップの7番目で、北朝鮮は23番目であること、GDPは3兆円で茨城県の経済力ぐらいしかないことを紹介。「北朝鮮に他国を攻撃する力はない」が、「軍事的に追い詰めていくと暴発しかねない。軍事でなく対話による圧力をかけ、変えていくことが平和的で現実的だ」と述べました。

堀内さん 奈良・老人福祉施設協議会と懇談「人手不足深刻」

堀内照文前衆院議員は2日、奈良県議団とともに特別養護老人ホームを運営する法人などでつくる県老人福祉施設協議会(植田誠会長)と橿原市内で懇談しました。同協議会からは、介護・福祉の人材不足が深刻であるためイメージアップの促進、すべての職種の底上げ、賃上げが必要であることが強調されました。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel 06(6975)9111 Fax 06(6975)9115

No. 7(2018.2.5)

近畿いっせい宣伝 9日(金)を大きく成功させましょう